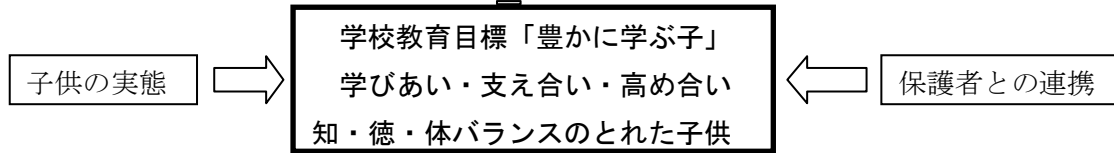
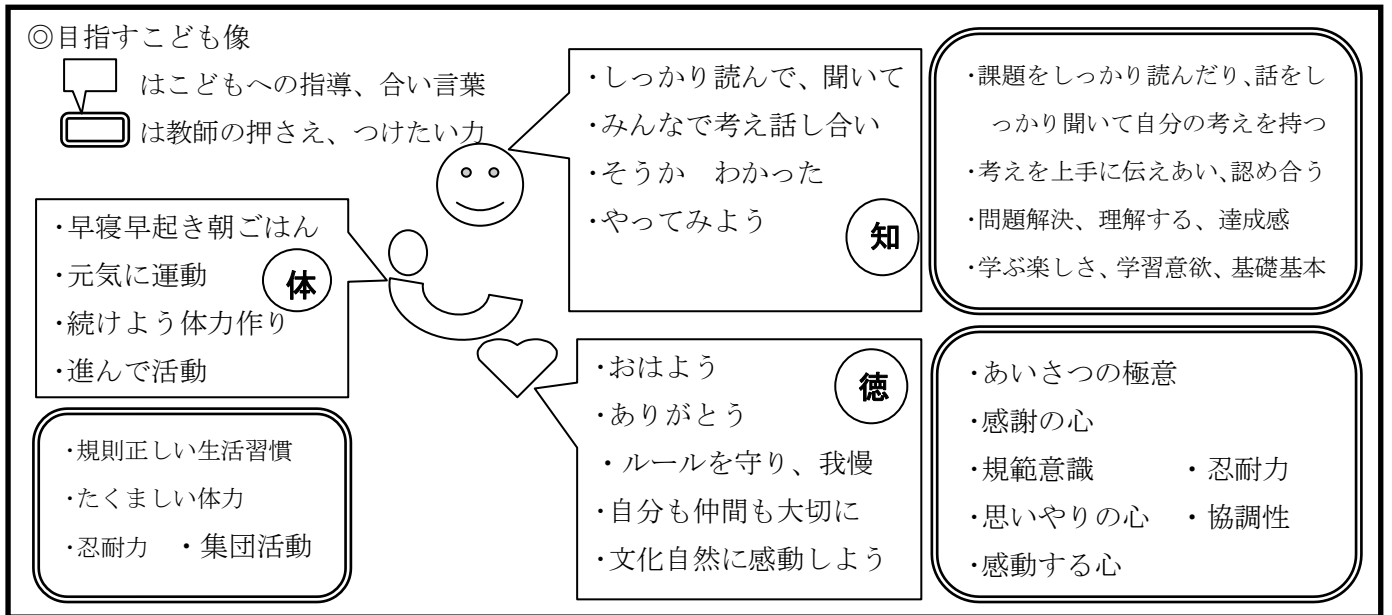


教育基本法 人格の完成・平和民主国家形成者・心身健康

有徳の人 ころざしを持った子供 生きる力



\*目指すこども像を達成すれば、豊かに学ぶ子が育つ



授業改善・指導工夫

指導部	ねらい・目標	〇具現化の手立て (◎重点)	評価の観点
学習 研修部	「共に学ぶ楽しさと成就感を得ることができるよう に指導力向上に努める」 研修テーマ 「伝え合う学びの充実」	◎「伝え合う学びの充実」研修テーマ ・言語表現による伝え合いの充実 ・「話す力」「聴く力」の育成 〇基礎基本の徹底を図る 〇読書の習慣化を図る	・学習意欲、主体的な学習 ・よりよい学習集団 ・話す聴く力段階的育成 ・言語表現段階的育成 ・算数国語の基礎基本 ・読書好き、習慣化
特別 活動部	「集団の一員としての自覚を深め、 活動を通して自主実践的な態度、 ともに解決していく態度を養う」	◎主体的取組み、ともに高め合う仲間作りの推進 〇一人一人が活躍、認め合い、支え合う学級活動 〇主体的に創り出す児童会	・活躍、認め合い、話し合いの場 ・なかよし活動、異学年交流 ・集会活動、委員会活動
生徒 指導部	「共に生きていこう とする子」 (心を育む先手の生徒指導)	〇お互いを大切にする心の育成 〇ルールを守る心の育成 〇親身になって、生き方を示しながら	・思いやり、良好人間関係 ・あいさつ、規則正しい生活 ・規範意識、忍耐、安全意識

親身に関わる

## 学校経営目標

### 1 教育活動の充実

『知・徳・体の調和のとれた健全な心身の育成を目指し、教育活動を充実させ、授業改善に取り組む。』

### 2 安心安全な環境の確保

『子どもに寄り添い親身になって関わる指導を推し進めるとともに、校内外の安全管理に努める。』

### 3 教育課程の工夫

『子どもと過ごす時間や教材研究の時間確保のために、仕事や教育課程の能率化・効率化に取り組む。』

### 4 予算執行と効率的事務

『適切な予算執行と効率的事務の執行を推進する。』

### 5 組織やチームとしての職員集団

『研修を充実させ、専門職としての資質向上を互いに図るとともに、助け合い協調・協力して学校運営できる職員集団を目指す。』

## [平成23年度：職員の合い言葉]

### ◎授業を大切に ◎親身に関わる ◎助け合う

#### ◎授業を大切に～子どもも教師も。

- 子どもが授業に真剣に取り組むのを求められるのは当然。
- 教師は教材研究・授業研修を通して授業の質を高める。そのために、授業研修は重要なものである。
- 教師の授業への真剣な姿勢を子どもにしめす。普段の授業も参観者がいると思って授業をやる。
- 環境を整える。教室や黒板をきれいに、机も整理整頓、授業前に徹底を。いつも花がある教室。

#### ◎親身に関わるとは～まず、子どもの側にいること。

- 子供が学校にいるときは、子供と共に。常に子どもの状況把握を。子どもや親の気持ちになること。
- 子どもの側にいると困っているかどうか直ぐわかる。その時、しっかり話を聞く。
- 子供は未成熟な人格であるから、公平・平等に親身になる。そして迅速な対応をその日の内に。
- 常に人権感覚を忘れず、子どもの良い点を認め、自尊意識・自己肯定感を高める。
- ◎その日限りの徹底を。(子どもの事故等の対応)

#### ◎助け合う～支え合い・高め合う職員集団を目指す

- 自分の役割について、誠意をもって果たす。その上で相談・助け合いができる仲間に。
  - やってよかったと言える、思えるように仕事をする。それが子どものためになる。
  - お互いに助け合い支え合う職場は明るく楽しい職場づくりから。
- ※「親身になる。助け合う。」は本校で働く全ての職員の合い言葉。事務室も図書室も子どもがいるときは、子どもへの対応が最優先。